

## ”SaSaLAND” 構想の地元説明会が開かれました。



先月号で予告した、笹平分校を活用した教育支援センター「SaSaLAND構想」について、近隣住民説明会が1月14日、住民説明会が1月22日、両説明会とも笹平公民館で開かれました。

説明は長野市教育委員会が行い、その後で地元の方の質問や意見を伺いました。

構想の柱である「不登校の児童生徒の居場所づくり」には、積極的に賛同する声が多く、地元の方々の期待の大きさが窺い知れました。

また、SaSaLANDに通う子どもたちにとって、通行量の多い県道は危険が多く、路線バスのバス停や歩道の整備が必要だ、との声など、子どもたちの安全を気遣う質問や意見が出され、地元の方々の思いやりを感じました。一方で、社会体育館として現在も地域などで使用している分校の体育館は今後どうなるか、校舎内外の構造物などの安全対策をどうするか、などの質問が出され、教育委員会から現時点での考え方を説明した上で、必要に応じて協議するなど、課題解決にあたっていく、との回答がありました。

この後改めて、集まっていたいただいた方々の「全員賛成」の意思を確認し説明会を終了しました。これから、令和6年度の開設に向け、住民自治協議会も加わって「SaSaLAND運営協議会（仮称）」を立ち上げていく予定です。

地域と子どもたち、保護者たちとの心のバリアフリーを目指して、住民自治協議会としてもバックアップしていきます。



### 特別会計収入支出決算概要（令和3年度） 七二会地区乗合タクシー（新じんば号）運行事業

収入決算額	7,721,042円
支出決算額	7,702,704円
差引残額	18,338円（翌年度へ繰越）

（単位：円）

（単位：円）

収入の部	科目	決算額	付記
	補助金	7,691,934	市中山間地域乗合自動車運行事業補助金
	負担金	11,000	住自協より
	繰越金	18,108	前年度繰越金
	雑収入	0	貯金利息
合計	7,721,042		

支出の部	科目	決算額	付記
	委託料等	7,702,704	運行事業者委託料 （運行実績）
			利用者年間 2,235人 一日当たり 7.9人
合計	7,702,704		

## ～ 第1回冬季健康講座・健康福祉推進員会 ～

1月13日（金）七二会支所会議室に於いて、第1回冬季健康講座『いつまでも自分の足腰で元気に暮らそう!! 体操で健康づくり』が行われました。講師として長野市保健所理学療法士・池田あゆ美係長をお招きし、講演ならびに椅子に腰かけての実技がありました。

体操では、足の左右膝を伸ばしたり、つま先立ちでふくらはぎの筋肉が鍛えられ足腰が元気になること、歯磨き・台所仕事しながらできる簡単筋トレを学びました。早速夕食の支度時に実践した次第です!!

休憩後は3班に分れて各地区の活動報告の作成をしました。お茶のみサロン等の活動写真、コメントや飾りをレイアウトしながら模造紙に貼り付け、各班力作の活動報告が完成しました。

自分の知らない事を見たり聞いたり体験したことで、視野が広がり有意義な時間となりました。

（寄稿：健康福祉推進員 石坂 太三子）



地区で伝えられるように皆さん真剣です!

講師：池田あゆ美先生

### 1月14日（土）古間お茶のみサロン

～古間公民館にて～

#### ◆セルフハンドマッサージ&

人にもハンドマッサージ◆

冬は家に閉じこもりがちのため、血流も鈍り、コロナ過では近所の人たちとの会話さえ難しい状況ですが、お互いにハンドマッサージでほぐしあいました。

楽しく会話も弾み皆さん名残惜しそうに帰られました。

秋のお茶のみサロンの折り『ハンドマッサージを次回に!!』との要望に応え今回に繋げることができました。

（寄稿：健康福祉推進員 池田 郁子）



### 1月19日（木）定谷お茶のみサロン ～定谷公民館にて～

介護予防の講座『口とカラダの元気体操』について、歯科衛生士の吉野美穂子先生より、ご講話いただきました。

まず、いつまでも口からおいしく食事をいただくため日常生活で気を付けたいポイント等のお話があり、早口言葉、座ったままの上半身の体操を行いました。体操が終わるころには体がポカポカに温まり、吉野先生のためになるお話で、皆様と楽しい時間が過ごせました。

先生のお話で深く印象に残ったのは、食べる時の”姿勢”や”呼吸を整える”ことが大切だということ。姿勢を正して、よく噛み、食事をゆっくり味わうという、当たり前の中でも大切な『食べる』。

忙しい・忙しい...とよく噛まずに早食いしていたなど、当たり前の事をきちんとしなくてはと反省しました。

（寄稿：健康福祉推進員

小池理恵）



### 編集のつぶやき

「年度末」という大きな節目の3月。「弥生」は「いや・おい（だんだん・芽吹く）」が変化して「やよい」となった説が有力だとされている。季節が冬から春に向かう意味だろう。

また、卒業や退職・転勤など、別れの月でもある。「別れ」という言葉には、何かの悲しい響きがあるが、翌月には「新しい出会い」があると思えば、希望も生まれ、救われる気がする。

”終わり良ければすべて良し”となるよう、令和4年度をしっかりと締めたいものだ。

